

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2025年6月26日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪府岸和田市田治米町153-1 氏 名 日本継手株式会社 (代表取締役社長 吉川 健) 電話番号 072-445-0285	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日本継手株式会社
事業場の所在地	大阪府岸和田市田治米町153番地の1
計画期間	24 金属製品製造業 (鋳物、銅、銅合金製及び樹脂継手の製造販売)
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	24 金属製品製造業 (鋳物、銅、銅合金及び樹脂継手の製造販売)
②事業の規模	資本金額：99.5百万円 年間出荷金額：13,343百万円、年間生産量：10,148 t/年
③従業員数	277人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	添付資料①参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

添付資料②参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	排 出 量	794 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ○コークスによる溶解キュボラを電気炉（高周波炉）に平成24年8月より変更。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	排 出 量	794 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ○上記現状取組の継続 ○トリクロロエチレンによる脱脂装置を、炭化水素、アルカリ洗浄装置への代替検討中 ○海外購入品増により木箱が増え、木くずが増えており、鉄パレトイナによる納入交渉中		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 当工場から発生する産業廃棄物は、製造工程からばいじん・鉍さい・汚泥と加工工程から廃油・廃プラスチック・木くず等到大別し、それ毎の置場を設け分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 同上

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

鉍さい (A-3)	鉍さい (A-4)	鉍さい (A-5)	鉍物性廃油・油性 (A-6)
0 t	2046 t	0 t	0 t

②計画

鉍さい (A-3)	鉍さい (A-4)	鉍さい (A-5)	鉍物性廃油・油性 (A-6)
0 t	2046 t	0 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチックPE (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
67 t	9 t	82 t	73 t

②計画

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチックPE (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
67 t	9 t	82 t	73 t

ガラスくず (A-11)	安定型混合廃棄物(A-12)	石綿含有ガラスくず等(A-13)	金属くず (A-14)
0.4 t	12 t	0 t	0.0 t

ガラスくず (A-11)	安定型混合廃棄物(A-12)	石綿含有ガラスくず等(A-13)	金属くず (A-14)
0 t	12 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0.1 t	3.5 t	3.5 t	0.2 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0.1 t	3.5 t	3.5 t	0.2 t

汚泥(塗料カス等)(A-19)
3.9 t

汚泥(塗料カス等)(A-19)
3.9 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ○砂再生処理炉による1,104 tの鉱さい削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組）			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

鉍さい (A-3)	鉍さい (A-4)	鉍さい (A-5)	鉍物性廃油・油性 (A-6)
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

鉍さい (A-3)	鉍さい (A-4)	鉍さい (A-5)	鉍物性廃油・油性 (A-6)
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

鉍さい (A-3)	鉍さい (A-4)	鉍さい (A-5)	鉍物性廃油・油性 (A-6)
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

鉍さい (A-3)	鉍さい (A-4)	鉍さい (A-5)	鉍物性廃油・油性 (A-6)
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチックPE (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチックPE (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチックPE (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチックPE (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず (A-11)	安定型混合廃棄物(A-12)	石綿含有ガラスくず等(A-13)	金属くず (A-14)
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず (A-11)	安定型混合廃棄物(A-12)	石綿含有ガラスくず等(A-13)	金属くず (A-14)
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず (A-11)	安定型混合廃棄物(A-12)	石綿含有ガラスくず等(A-13)	金属くず (A-14)
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず (A-11)	安定型混合廃棄物(A-12)	石綿含有ガラスくず等(A-13)	金属くず (A-14)
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0 t	0 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0 t	0 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

汚泥(塗料カス等)(A-19)
0 t

汚泥(塗料カス等)(A-19)
0 t

廃酸 (A-18)
0 t
0 t

廃酸 (A-18)
0 t
0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（A-1）	無機性汚泥（A-2）
	全処理委託量	794 t	0 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	794 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	794 t	0 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

鉦さい (A-3)	鉦さい (A-4)	鉦さい (A-5)	鉦物性廃油・油性 (A-6)
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

鉦さい (A-3)	鉦さい (A-4)	鉦さい (A-5)	鉦物性廃油・油性 (A-6)
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

鉦さい (A-3)	鉦さい (A-4)	鉦さい (A-5)	鉦物性廃油・油性 (A-6)
0 t	2046 t	0 t	0 t
0 t	1223 t	0 t	0 t
0 t	2046 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

(第4面) - 16

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチックPE (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチックPE (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチック (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
67 t	9 t	82 t	73 t
24 t	0 t	40 t	73 t
67 t	9 t	51 t	73 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず (A-1 1)	安定型混合廃棄物(A-1 2)	石綿含有ガラスくず等(A-1 3)	金属くず (A-1 4)
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず (A-1 1)	安定型混合廃棄物(A-1 2)	石綿含有ガラスくず等(A-1 3)	金属くず (A-1 4)
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず (A-1 1)	安定型混合廃棄物(A-1 2)	石綿含有ガラスくず等(A-1 3)	金属くず (A-1 4)
0.4 t	12 t	0.00 t	0 t
0.4 t	12 t	0 t	0 t
0.4 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0 t	0 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0 t	0 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0.1 t	3.5 t	3.5 t	0.2 t
0.1 t	3.5 t	3.5 t	0.2 t
0 t	3.5 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0.1 t	0 t	0 t	0.2 t

汚泥(塗料カス等)(A-19)
0 t

汚泥(塗料カス等)(A-19)
0 t

汚泥(塗料カス等)(A-19)
3.9 t
3.9 t
0 t
0 t
3.9 t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん (A-1)	無機性汚泥 (A-2)
	全処理委託量	794 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	794 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	794 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

②計画

鉍さい (A-3)	鉍さい (A-4)	鉍さい (A-5)	鉍物性廃油・油性 (A-6)
0 t	2046 t	0 t	0 t
0 t	1223 t	0 t	0 t
0 t	2046 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

②計画

鉱物性廃油・水溶性 (A-7)	廃プラスチック (A-8)	廃プラスチック (A-9)	木くず (A-10)
67 t	9 t	82 t	73 t
24 t	0 t	40 t	73 t
67 t	9 t	51 t	73 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず (A-11)	安定型混合廃棄物(A-12)	石綿含有ガラスくず等(A-13)	金属くず (A-14)
0.4 t	12 t	0 t	0 t
0.4 t	12 t	0 t	0 t
0.4 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

廃アルカリ (A-15)	汚泥 (A-16)	汚泥 (樹脂粉体) (A-17)	廃酸 (A-18)
0.1 t	3.5 t	3.5 t	0.2 t
0.1 t	3.5 t	3.5 t	0.2 t
0 t	3.5 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0.1 t	0 t	0 t	0.2 t

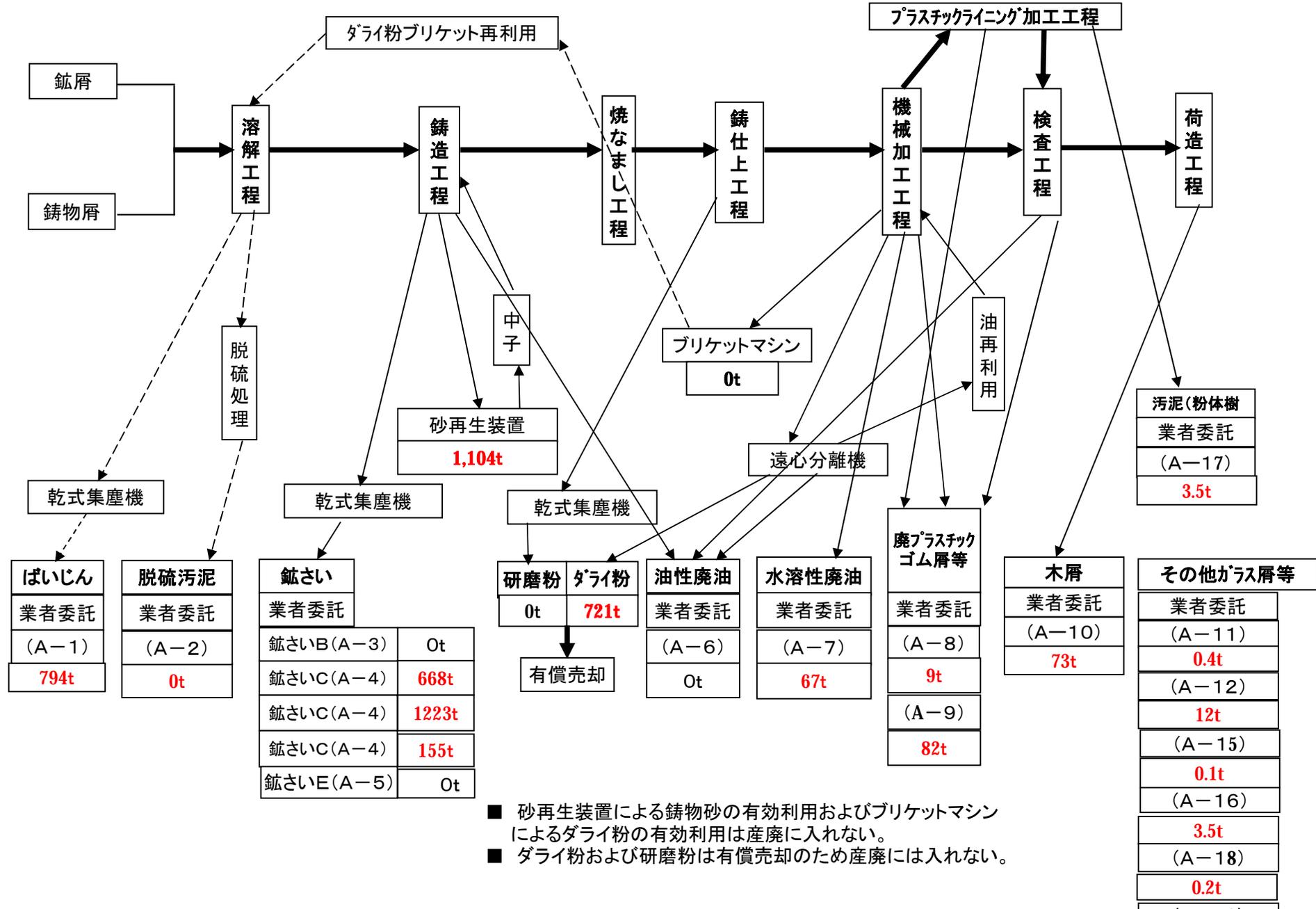
汚泥(塗料カス等)(A-19)
3.9 t
3.9 t
0 t
0 t
3.9 t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

主副原料

産業廃棄物の一連の処理の工程



添付資料②

管理体制図

